

吉田地区タウンミーティング概要

- 1 日 時 平成22年7月15日（木）19時～20時30分
- 2 場 所 吉田小学校 体育館
- 3 参加者 51人
- 4 市職員 太田市長、鈴木副市長、江波戸教育長、秘書課長、企画課長、総務課長、財政課長、税務課長
- 5 概 要
 - (1) 開会
 - (2) 区長会長あいさつ
 - (3) 市政報告（太田市長）
 - (4) 質問（要点のみ掲載）

① 小学校統廃合関係

先ほど市長から、残念ながら飯高小が廃校となったということですが、吉田小・吉田保育所については今後どのようなになるのか？

（教育長回答）

全国的に子どもの数が減少し、匝瑳市も同じように減少しています。その中で特に減少したのが飯高小学校。1年生が0人、2年生が2人、6年生が女の子3人という状況で、地域で話し合った結果、統合しようということになり、統合先も地区民の希望通り、八日市場小ということになりました。

吉田小は一時期50人前後まで児童数が少なくなったが、現在は60人を超す人数で推移しています。法律では40人までは1クラス。41人になると2クラスになり、2学年合わせて16人以下になると、2つの学年で1クラスになってしまいます。現在、吉田小では複式学級が1つ存在しますが、特別に県に働きかけて、標準よりも余分に教員を1人、市の講師も1人配置し、それを防いでいます。現在、0歳児までの子どもを見通して、この地区で生まれた子どもがそのまま吉田小学校に入学すれば、複式学級は出ない予定です。

② 消防団関係

現在、吉田地区消防団員の定員は36名である。36名の定員確保に苦勞している。これからの消防団員の定数について（人数削減の）検討と考えを伺いたい。

(市長回答)

吉田地区に限らず、どこの消防団でも団員の確保に苦勞しているのが現状です。自分たちがやっていたころは人数も多く、勤め人には遠慮してもらっていた時期もあったが、現在は、勤め人が多くなっており、勤め人に頑張ってもらいたくないと運営できない状態です。消防団関係は総務課長から補足させます。

(総務課長回答)

消防団の条例上の定数は694名。平成22年4月1日現在、679名で、15名不足の状態。内訳は勤め人が483名と非常に多い。自営業は170名で、昔のように自営をやりながら消防団活動をしていくという余裕がない時代になってきています。

本市では消防団の再編にあたって、2つの部を1つの消防機庫にし車両をまとめ、いざというときには集まった団員がどちらの車両でも出動できるような体制にするなど工夫をしており、須賀・豊栄・吉田でもこのような取り組みを行っています。

平成7年の阪神淡路大震災。兵庫県知事の経験談によると、大きな災害がおこったときに行政がやれるのは全体の2～3割。地元の被災を真っ先に救援できたのは、地元の消防団やボランティアの人で7～8割。このように大災害の時に住民の生命と安全を守った実績からいくと、なかなか定数を減らせないのが現状です。ただし、地区毎に個別の事情があると思うので、改まった形で、吉田分団長の立場でご意見をいただきたいと思います。

③ 商店街関係

八日市場の本町通りの商店街はシャッターが閉まっている。このままでいいのかと見てきた。休みでもないのにみんなシャッターが閉まっている。お客がいなせいもあると思うが、物足りない感じがしている。市長にもその辺を確認していただきたい。

(市長回答)

お話の通り、シャッター通りになってしまっている現状です。商店街を活性化するために商工会と連携をとりながら、プレミアム商品券の発行に対する助成やジャンボ宝くじ、市場まつりなど、行政面でやれることはやっていますが、今一歩と感じています。商工会関係の皆さんと相談し、「八日市」でにぎわった昔の活況のある商店街を取り戻していけるよう頑張っていきたいと思います。

④ 観光関係

匝瑳市は観光に力を入れているというが、その割に観光の看板が少ない。店をやっている関係で、季節にもよるが平均して日に4～5人から飯高檀林などへの道を聞かれる。国道から飯高檀林への案内看板がない。ふじ祭りでも2か所しか案内看板がないので、よく道を聞かれた。案内には、平均して1人5分かかる。1年間にすると、何日も道案内をやっている気分になる。立派な看板を作ろうとするとお金の問題が出てくるので、ベニヤでもいいのでたくさん作ってもらいたい。

それともう一つ。市で作った良い観光マップがあるのだが、需要が結構あるので、預かった20部くらいはすぐになくなってしまふ。店をやっているので、日中なかなか取りにいけない。頼めば届けてもらえないものか。

(市長回答)

私自身、観光ということを考えると、八日市場駅からという頭しかなかった。いろいろな方面から匝瑳市においでいただくので、お客様に親切な看板の設置を検討させていただきます。

観光マップの件は、すぐにでも対応します。

⑤ 合併浄化槽関係

合併浄化槽の設置促進について。吉田地区では何%ぐらい合併浄化槽になっているのか。合併浄化槽にする場合、補助金があると思うが、いつまで出るのか。事業をやる場合、推薦してくれる業者はあるのか。

(市長回答)

数値などの詳細は、後日担当課より回答させます。個人的には、設置率は低い気がします。補助金については、単独から合併浄化槽にする方法と、汲み取り式から合併浄化槽にする方法では額が違うが、だいたい総額の半分くらいの補助金が出ると思います。業者についてはたくさんありますが、見つからない場合には、環境生活課に相談してもらえれば紹介できます。

(秘書課長回答)

補助金については、現在のところいつまでとは決まっていません。匝瑳市の場合、公共下水道での対応がなかなか出来ないなので、水を浄化するという目的で合併浄化槽の設置促進に一生懸命取り組んでいるところです。単独浄化槽から合併浄化槽への切り替えでも補助金が出るので、検討いただきたいと思っています。

⑥ 子宮頸がん・事業仕分け関係

子宮頸がんの問題について。小さいころに予防接種すると良いと聞かすが、市にそのへんの計画があるのか。

国も自治体も財政難。支出を抑えて効率の良い仕方が必要になる。参議院選挙で民主党が大敗したが、1人だけ地方区で100万票を獲得した議員がいる。蓮舫議員である。事業仕分けで名前を売ったことが票に現れている。

市長報告の中で、大変な事業計画がなされている。我々素人は、表面上はわかっても、細部まではわからない。これは要望であるが、今市でやっていることを無駄だと言っているわけではない。ずっと同じ目線で30～40年仕事をやってきた人たちだけで、果たして無駄がなくなるだろうか。やはり、違う目線が入った方がいいのではないか。事業仕分けがいいか悪いかはいろいろな意見があるが、あれを見て私は「なるほど」と思った。そういうことをぜひ今後の市政運営に取り入れていただき、しかもそれが市民目線でわかるような、例えば、これだけの効果があった、それを効率よく活用できたなど、市民にわかるように知らせることが大事だと思う。ぜひやっていただきたい。

(市長回答)

子宮頸がんワクチンは全国的な問題で、市議会の中でも議員さんから意見・要望をいただいています。先日の森田知事との懇談会でも、各自治体の首長から県に対して早く方向性を出すよう要望しています。県下でも成田市や富里市、いすみ市では半額又は全額支給しているが、大半は国の動向を注視している状況です。

ワクチンが高額ということでネックになるのが予算。本市では毎年150人前後の女性が対象になり、1人あたり5万円の費用がかかるので、年間750～800万くらい必要になるとの試算。本市としては、国・県の動向を十分踏まえて検討していきたいと考えています。

また、市の予算・事業に関する取り組みについて、マンネリにならないよう市民本位の行財政運営をとるのことは、合併してこの5年間、行財政改革に取り組み、実績はかなり上がっていると私なりに解釈しています。限られた予算でたくさんのご要望を遂行してかなければならない状況を踏まえて、少ない予算で最大の効果が出るような運営をやっていきたい。そのために勉強をしていきたいと思っております。

(総務課長回答)

広報そうさ7月号に匝瑳市行政改革大綱の取り組みを紹介しています。これは平成18年の合併後間もなく取り組んでいます。行政改革は事業仕分けと同じよ

うなものです。市民に委員になっていただき、提案を頂きながら改革に取り組んでいるものです。提案の中には、職員の定員管理、給与の適正化、組織機構の見直し、事務事業の見直し、民間委託などの推進、第三セクターなどの見直し、財政の健全化、さらには市民参加による開かれた行政の推進、市議会の自主的な取り組みなど、大きく7項目に分かれ、細部は54項目にわたっています。

平成22年7月現在、41項目の実施率で、達成状況は75.9%。4年間の削減額が17億円となっています。この取り組みにより、100%近かった経常収支比率が90%まで落ちてきています。この計画期間は平成22年度いっぱいまでとなっていますが、太田市長の政治方針で、今後も引続き改革に取り組むとの方針ですので、今年度もしくは来年度の頭には、計画続行のための詳細を決めて取り組んでいきます。

⑦ 境界関係

境界の件で骨が折れたところが多々ある。公共工事をやっている関係で、昔の地形がだいぶ変わってきている。官民の境界ははっきりしているが、その奥にある民民の境界がうやむやのままになっていて、それについて隣の方とのトラブルが絶えない。ましてや、宅地、畑、山林については、笑顔のまちづくりというが、陰では憎しみあったりしている。

市の方針として、国土調査をしていただけないものか。多古町では10数年前に実施済みで、地図と実際の場所が異なっている状況があったと聞いている。また、自分の土地を貸したりして、境界がはっきりしなくなり、うやむやのまま（家主の）代が変わっているなどの状況がある。ぜひ実施していただきたい。

（市長回答）

かなりの経費と長い年月がかかる事業なので、大変難しい問題だと思っています。いつかはやらなければならないものとの思いです。課題として、常に検討する材料にしていきたいと思います。

⑧ 安全対策関係

市長にはあんまり頑張らないでほしい。結局お金はないのでなるべくにしかない。配付された資料には素晴らしい計画がある。しかし、これを実施するには大変お金がかかる。

例えば、病院の問題はお金がかかって大変であるが、お金で済むことであればまだましである。銚子市では、病院を造るとか、医者呼び寄せるとか本当に大変である。本市の場合は、まだお金で解決できる問題なので良い方である。だか

ら、あまり無理しないことも重要であると思う。

教育長にお願いしたい。現在、地区では小学校の防犯の関係で、通学路を点検しているところである。小学生はそれでいいのだが、問題は中学生の場合。中学生の女の子が部活を終わって帰ってくる時、私の家では、暗くなればバス停まで迎えに行ったものだが、これは出来る家庭と出来ない家庭がある。防犯灯が整備されているが、おまわりさんに対しても、暗くなったら子どもたちの安全を見守っていただくなどの要望も考えていただきたい。家の娘に言わせれば、ここは物騒なところで住むところではないとまで言っている。表には出ていないが、結構今までに事故があった。JRのバスがあり、遅くなっても帰宅出来るようになったが、中高生がバスを降りて、暗くなっても安心して家まで帰れるような対策をお願いしたい。

(市長回答)

励ましのお言葉に感謝します。こういうコミュニケーションは大事だと思っています。これからも市民目線でやっていきますので、よろしくお願いします。

防犯については、市としても力を入れているところですが、地元の意見も取り入れながらやっていきたいと思っています。

(教育長回答)

小学生については、学校だけではやりきれないので、地域や保護者に協力してもらってボランティア制度を作って対応しています。平成22年4月現在、市全体で419名の方が登録されていて、登下校時の警戒に当たっていただいている状況です。しかし、中高生のバス停から自宅までの防犯については、指摘通り、一番抜けている部分です。

現在、スクールガード制度というのがあり、県から匝瑳市に1名派遣していただき、日中、幼稚園や小学校を見回っていただいているが、まだ少ないというのが現状。市としてもそこまで手が回っていない状況です。今後の大きな課題として検討し、対策に取り組んでいきたいと思っています。

⑨ 市町の行政界関係

副市長にお願いしたい。匝瑳市と横芝光町との境界で、うちの方の田んぼの中でこの問題がある。このまま放置をしておくと、うちの方がだいぶ攻められる状態。行政界について、田んぼのいろんな状況がある程度知っている人がいるときにやっておくべきである。半年くらい前に、隣の土地改良区からうちの方の田んぼにきて、杭を打っていたがとんでもない話である。昔の吉田村と日吉村の問題

でもあるが、今のうちにはっきりさせておきたいので、検討をお願いしたい。

(副市長回答)

田んぼの境界というのは、圃場整備をして、たまたま区画が変更になり、一つの田んぼで境界が残っているということでしょうか。一般的な話をすると、市と町との境界変更については、行政同士で話し合いをし、最終的には匝瑳市と横芝光町の議会の議決によって決定し、その内容を県へ届出をするという流れになります。必要性があれば要望を出していただき、その上で検討させていただきたいと思えます。

⑩ 市町の行政界関係 (再質問)

具体的な問題として、我々の方が追い込まれている状況である。このままだまって引き下がるのは問題がある。先ほどの副市長の事務手続きの流れの説明は当然知っていて要望をしている。よろしくをお願いしたい。

(副市長回答)

後で具体的な場所を教えてくださいたいと思えます。

⑪ 跡地利用関係

資料の最後のページの市の重要政策のところ、跡地利用ということで3つ出ているが、具体的な利用方策は何かあるのか？

(市長回答)

J T跡地の問題については、市の商業活性化のために購入したが、いまだ活用出来ていない状態です。商工会にも相談したところですが、商工会でも持て余し、公募もしましたが、手を上げる企業がなかったということで、今のところ決定打を見い出せない状況です。

他の跡地問題として、飯高小学校の跡地については、まだ利活用の具体的な話が出ていません。

米倉分校については、つどいの広場として子育て支援事業に一部を活用しているが、全面的な利活用という状態には至っていないということです。跡地利用については鋭意取り組んでまいります。

⑫ 跡地利用関係 (再質問)

例えば企業を誘致するとか、あるいは跡地の利用のアイデアを募っているが、

「これは」と思うものがなかなか見い出せていないということなのか？

(市長回答)

そういう状態です。J T跡地の公募に取り組んだ経過については、企画課長から答弁させます。

(企画課長回答)

J T跡地については、商工会に活用策について検討を依頼したが断念されたところです。それを受けて民間活力を活用しての商業施設誘致ということで、公募もしたが、土地の形が悪いとか、用途区域の関係で大半が住居地域という問題などがあり、現状利活用の目処が立っていない状況です。

タウンミーティングや新生匠瑳戦略会議でご意見をいただき検討していきたいと思っています。

飯高小学校・保育園跡地については、地元飯高地区でのシンポジウムやアンケートなどで意見を頂いています。福祉施設でお願いしたいなど、若干問い合わせを頂いているが、産業振興・企業立地という点も踏まえて検討しなければならないと考えていますので、今後、新生匠瑳戦略会議の立ち上げを行っていく中で、検討していきたいと思います。

⑬ 重要施策関係

重要施策について、時間の関係で紹介がなかったが、広報などで紹介していく予定はあるのか。

(市長回答)

仮称合併記念公園整備事業についてですが、市役所の北側に5ヘクタールの農地があり、その内3ヘクタールが市有地。その3ヘクタールの市有地と合併特例債を利用して公園を整備するというものです。議会でもお金をかけた公園はダメだとされているところでもありますので、駐車スペースを多くとった広場を中心とした公園にしたいと考えています。

給食センターについては、八日市場・野栄の給食センターの建物が老朽化し、新築に当たり合併し、一つの給食センターにしたいと検討しているところです。

南北道路は、みどり平工業団地から野手の浜に向かった利便性のある道路を整備するというもので、合併特例債を活用してやりたいと考えています。

野栄中学校の校舎は、校舎そのものは古くなっているが、10年前に耐震工事をやっているの校舎は古いが建て替えの基準にまでいっていません。今回再度、

耐力度調査をやって、基準を満たせば建て替えようというものです。

他にも病院の問題があるが、今後経営の立て直しのためにどのような方向にもっていくかということについて、市民の皆さんのご意見も頂戴しなければならぬので、近々市民病院に対するアンケートを行って、将来の市民病院のあり方について検討してきたいと考えています。

東総地区広域ゴミ処理施設については、銚子、旭、匝瑳の3市で取り組んでいます。当初、旭市の遊正地区で考えていたが、反対にあって断念。次に匝瑳市の東小笹、山桑を含めた案もあったが、一番適しているのが銚子市の野尻地区だという調査結果が出たため、現在野尻地区で調整中。順調にいても7～10年かかる事業なので、かなりの時間を要し、一朝一夕にはいかないが、一生懸命頑張っていきたいと思います。

(秘書課長回答)

広報での事業の紹介についてですが、検討中のものについては広報でお知らせというのはなかなか難しい部分があります。一定の要件を満たした段階で、できるだけ丁寧にお知らせしてきたいと考えています。